

住民基本台帳 ネットワーク

問 ①個人情報や保護の点で不安が広がっているが守れるか

②安全という専用回線について

答 ①法によりシステムの利用目的の限定や市町村担当への安全義務、目的以外の使用禁止が定められている。今後、なお一層事務処理に万全を期すことで、個人情報の保護は可能と考えている。
②専用回線は、一般の回線やほかのシステムで使われている回線とは独立しており外部からの侵入は不可能となっている。

また、万一侵入された場合の対策として侵入検知装置が取り付けられているので、極めて安全性は高いと考えている。

平成15年度予算編成

問 ①予算編成は住民の暮らしに最優先に

②国保・介護保険等の負担

軽減及び減免を
③教育施設の耐震補強・診断についての予算は

答 ①税収の落ち込みや交付税の減額、県補助金の見直し等、厳しい財政状況が予想されるが、人件費や役場内部の管理的経費の抑制に努め、住民生活に密着した福祉、保健、医療等を中心にした予算編成をしていく考えである。

②国保税については、医療費との関係が大きいので、過去の実績や現在の状況を考慮しながら、歳出の状況を推定し、算定することになるが、今の状況で推移すると、税率の引き上げをしない方向で考えている。

介護保険料については、3年ごとに額を定めることから現在見直しの作業を進めている。この中でサービス利用者の増加、特別養護老人ホームの開設による施設利用者の増加等介護給付費が伸びるものと予想しており保険料の増額が必要となる。しかしながら社会的負担や経済情勢等を考慮し、保険料の増額がなるべく高

環境

問 ①可燃ごみ専用収集袋（小さいサイズ）について

②廃食用油のリサイクルについて

答 ①新たな袋の採用になると、手数料の値上げも考えられることから、山武郡環境衛生事業振興組合の財政的、運営的な面も関係するので、今後、組合の中で検討してまいりたい。

②平成15年度において、使用済みの家庭用食用油の回収を予定している。当面は回収した廃油の量を把握し、車両用の燃料化を含めリサイクル方法を考えてまいりたい。

健康づくり事業

問 ①自宅でできる検診の導入について

②超高齢化社会に向けた健康づくり事業の導入について

答 ①自宅でできる検査には、血圧測定をはじめ尿検査や大腸がん検査、血糖値の検査などがあるが、本来これらの検査は、医師等の専門家の指導のもとに行うことが最も好ましいとされている。今後は保健所や医

師会等の意見を参考に、検討してまいりたい。

②現在、保健師による地区健康教育や高齢者介護予防生活支援事業の実施、また老人クラブ活動の奨励を行うなど健康の維持と介護予防に努めている。特にデイサービス事業の希望者が多く利用度も大変高くなってきているので、これら事業の充実を図りながら寝たきり予防など高齢者の健康づくりに取り組んでまいりたい。

